

「オルツカンファレンス2023 ー生か死か 生成AIの齎す破壊と創造ー」アーカイブ動画を無料公開 成田悠輔氏などをゲストに迎えて生成AIと人類の未来を語り明かしたイベントをもう一度！

P.A.I.®（パーソナル人工知能）をはじめ、AIクローン技術で作り出すパーソナルAIの開発および実用化を行う株式会社オルツ（本社：東京都港区、代表取締役：米倉 千貴、以下、オルツ）は、2023年5月24日（水）15:00～18:30、ベルサール六本木にて「オルツカンファレンス2023 ー生か死か 生成AIの齎す破壊と創造ー」を開催いたしました。当日は約560名の方々にご来場いただき、9割以上の方が内容に「満足した」と回答するなど、大変ご好評いただきました。本日から、アンケートにご回答いただいた方限定でアーカイブ動画を無料公開いたします。

▶アンケートならびに視聴お申込みフォーム：

<https://share.hsforms.com/1WQ4nmm2nSdOxIA6MK68RfA5mb23>



「オルツカンファレンス2023 ー生か死か 生成AIの齎す破壊と創造ー」では、当社が独自開発した、デジタル上で人間の再現を可能にする人格生成プラットフォーム「[CLONEdev](#)」やノーコードエージェント生成プラットフォーム「[altBRAIN](#)」を発表しました。また、「AIの進展によって世界はどう変わるのか」をテーマに、GPTをはじめとしたLLM（大規模言語モデル）などの最先端の生成AIトレンドや、生成AIの進化についての解説・議論を行いました。

加えて、国内外で活躍する経済学者・データ科学者 成田悠輔氏とアーティスト・シンガーソングライターの静電場 朔氏を迎え、「CLONEdev」で生成した成田悠輔氏、静電場 朔氏の“AIクローン”とご本人達が対話を行いながら、生成AIの未来について語り合いました。また、理論物理学の第一人者である橋本幸士氏や数理先端技術研究所の生島高裕氏といった日本最高峰のゲストとともに、生成AIの齎す破壊と創造をテーマとしたトークセッションを実施いたしました。

当日は、AIの進化によって、今後人類はどのようなフェーズに突入していくのか、私たちはどのように生きていくべきかを、技術・経済の両面で議論を行いました。生成AIのビジネス活用や共生のためのヒントを得ることがで

きる、時代に取り残されないための重要な一日に惜しくもご参加ができなかった方々や、イベントの内容をもう一度ご覧になりたい方々向けにアーカイブ動画を公開いたします。詳細は、以下をご覧ください。



【「オルツカンファレンス2023」アーカイブ動画について】

タイトル : オルツカンファレンス2023 一生か死か 生成AIの齎す破壊と創造

視聴方法 : お申し込みフォームよりアンケートにご回答いただいた方に動画URLをお送りいたします。

料金 : 無料

お申し込みフォーム : <https://share.hsforms.com/1WQ4nnm2nSdOxIA6MK68RfA5mb23>

※落合陽一氏のセッションは非公開とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

【オルツカンファレンス2023関連情報】

▶ CLONEdev (クローンデブ) に関するお問い合わせ先

<https://clone.dev/>

▶ altBRAIN (オルツブレイン) に関するお問い合わせ先

<https://altbrain.ai/>

▶ 「オルツカンファレンス2023 一生か死か 生成AIの齎す破壊と創造」成田悠輔氏の登壇が決定！

<https://alt.ai/news/news-2120/>

▶ 【追加登壇者&タイムテーブル決定】「オルツカンファレンス2023 一生か死か 生成AIの齎す破壊と創造」

<https://alt.ai/news/news-2143/>

■株式会社オルツについて

2014年11月に設立されたオルツは、P.A.I.® (パーソナル人工知能)、AIクローンをつくり出すことによって「人の非生産的労働からの解放を目指す」ベンチャー企業です。また、AIの対話エンジンの開発から生まれた音声認識テクノロジーを活用した「AI GIJIROKU」などのSaaSプロダクトを開発・提供しています。2022年6月にシリーズDラウンドで35億円の資金調達を実施し、累計調達額は62億円に及びます。

<https://alt.ai/>

<報道関係者からのお問い合わせ先>

株式会社オルツ 広報 西澤

e-mail : press@alt.ai

<アライアンスに関するお問い合わせ先>
株式会社オルツ AI Solutions事業部 浅井
e-mail : sales@alt.ai